

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040050

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	4	簡易水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・1路線 町道海岸線(元稲府～港町 更新延長 L=3500m) 事業年度 平成26年～平成31年度 6カ年 ・2路線 町道音稲府開拓線(青葉第一浄水場～量水器室 更新延長 L=1,400m) 事業年度 平成31年～平成34年度 4カ年 全体事業実施 9カ年 更新延長合計 L=4,900m
基本施策	17	上・下水道の整備	事業優先度	A		
単位施策	1	水道の安定供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武地区配水管更新事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成29年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	配水管更新延長		関係課	#N/A		
事業目標	2,236m		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	雄武地区配水管において、昭和50年に布設され36年が経過した管路について、最も漏水事故の発生が懸念される2路線の配水管を、町道沿いに布設替を行い漏水等、破裂事故を未然防止し、安定給水を図ることから実施するものです。 ・1路線 町道海岸線 更新延長 L=3,500m (元稲府 旧須藤水産前 ～ 港町 旧漁組工場前) (1路線 全体3,500m H26～H29 L= 2,236m実施)		町道海岸線 実施調査設計 配水管更新工事 L=850m	町道海岸線 実測調査設計 配水管更新工事 L=710m	町道海岸線 配水管更新工事 L=260m (内元稲府橋添架管L=70m含)	町道海岸線 実測調査設計 配水管更新工事 L=835m	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	329,370	0	59,000	92,400	81,970	96,000
	財源内訳						
	国庫支出金	61,670		11,800	18,500	10,970	20,400
	道支出金	0					
	地方債	235,500		42,400	66,500	61,000	65,600
	その他	0					
	一般財源	32,200		4,800	7,400	10,000	10,000
実 績 事 業 費	事業費(千円)	316,570	0	52,596	89,392	80,892	93,690
	財源内訳						
	国庫支出金	61,670		11,800	18,500	10,970	20,400
	道支出金	0					
	地方債	230,200		40,000	64,000	60,600	65,600
	その他	0					
	一般財源	24,700		796	6,892	9,322	7,690
関 連 事 項	特定財源の名称 ◎国庫支出金 ・生活基盤近代化事業 基幹改良(約20%) ◎地方債 ・簡易水道事業債(50%) ・過疎債(50%)	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ・配水管更新工事 L= 345m ・実施設計業務 L= 835m ・実測調査業務 L=1,500m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・配水管更新工事 L= 796m ・実施設計業務 L=2,300m ・実測調査業務 L=1,500m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・配水管更新工事 L= 260m (φ200mm L= 131m φ150mm L= 53.4m 添架管 L= 75.6m 合計 L= 260m) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・配水管更新工事 L= 835m ・実施設計業務 L= 330m ・実測調査業務 L= 300m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		850m	710m	260m	835m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	89%	97%	99%	98%
		全体達成率	0%	16%	43%	68%	96%
		備考欄					

事業名	雄武地区配水管更新事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	水道係長	江田 一夫

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	更新延長	
【抱える課題やニーズは】	配水管破裂による断水	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	断水の未然防止	① 更新延長/更新延長実績	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定供給の確保・強化		目標値	835 m
			実績値	835 m
			達成度	100.0 %
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による配水管更新の実施	入札により民間業者に発注し、配水管更新を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	生活用水の安定供給確保のための配水管更新は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	断水事故の未然防止が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	生活用水の安定供給が維持されたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
配水管更新により断水事故等の未然防止が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
水の安定供給のためには、継続現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止